

新・現代日本の作家たち
アトリエ写真

No. 155

Artist

長

澤

耕

Photo by

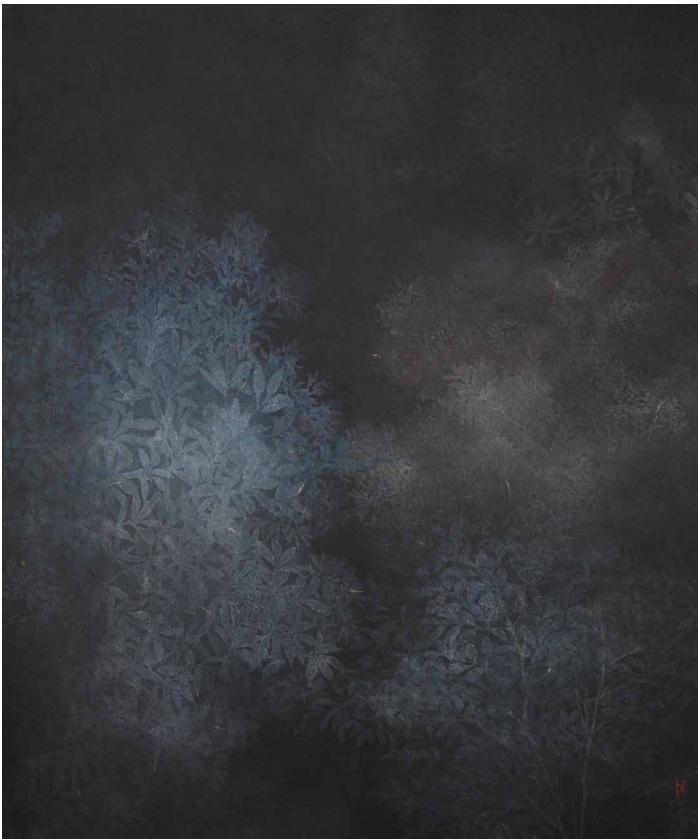
寫真

山下武

平

ながさわ・こうへい 1985年東京都生まれ。2010年東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業。12年同大学院美術研究科絵画専攻日本画研究分野修了・修士制作東京藝術大学買上げ、メトロ文化財団賞 平山郁夫文化芸術基金奨学金授与。15年同大学院博士後期課程美術専攻日本画研究領域修了・博士号(美術)取得。16年より山種美術館日本画アワード2016入選(同19年)。17年WEIZ展・WEIZ展賞。18年第7回東山魁夷記念日経日本画大賞展入選(同19年)。19年創画展創画会賞(同20年)。22年。21年「第1回BROZ・それぞれの日本画」(郷さくら美術館ほか)。24年アート台北 現在、東京藝術大学日本画研究室非常勤講師、創画会正会員。





《森の夜》 46.5 × 38.8cm 2024年

長澤耕平 日本画展——夜の森へ——
会期 2025年12月24日(水)～29日(月)
最終日は午後4時閉場
会場 岡山天満屋 5階美術ギャラリー
☎ 086-(231)-7523(直通)

PHOTO of ATELIER



身辺抄

現在は、非常勤講師を務める東京藝大のアトリエで制作しています。この画室の魅力は、何より広々とした空間と高い天井にあります。水場も完備され、一般的なマンションやアパートではなかなか得がたい、恵まれた設備が整っている点も大きな利点です。

創画展をはじめ、大作に取り組む機会が多い私にとって、この環境は得難いものだとヨンやアパートではなかなか得がたい、恵まれた設備が整っている点も大きな利点です。多くの私にとって、この環境は得難いものだと

感じています。任期があるため、いざれはこの場所を離れなければなりませんが、今はこの貴重な時間を存分に生かしながら、制作に向き合っています。

以前は都市を俯瞰するような作品に取り組んでいましたが、現在はおもに「森」をテーマに制作を続けています。私の関心は何年かごとに循環するように変化していきますが、共通して惹かれるのは、無数の個が集まり、一つの有機体へと結晶していく瞬間です。いわば「断片の中に宇宙が宿る」という感覚でしょうか。限られたひとかけらが、より広い世界へつながっていく——そのイメージを作品の中で探っています。

その一方で、素材そのものから表現が自然に立ち上がりてくるような状況も大切にしたいと考えています。自分らしいペースを保ちながら、観る人の心の琴線にそつと触れるような作品を生み出せればと願っています。

